

科目	流体計測 (Fluids Measurement)		
担当教員	赤対 秀明		
対象学年等	機械システム工学専攻・1年・後期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A-4-2(80%) B-2(20%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-b,(d)2-d,(f),(g)
授業の概要と方針	流体計測は、流体を扱うプラントや工業機器において、製品の生産量、原材料の使用料、蒸気や燃料などエネルギーの消費量などの把握や制御という観点から欠くことのできないものである。流量、流速、圧力、水位(液位)、粘性係数、密度、表面張力、温度などについて、その計測法の原理と特徴、構造と機能、測定上の注意事項などを理解させる。学生による発表形式でプレゼンテーション能力を養う。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A-4-2】各種流体計測法の原理と特徴、構造と機能、測定上の注意事項を理解できる。		流量、流速、圧力、水位(液位)、粘性係数、密度、表面張力、温度などについて、その計測法の原理と特徴、構造と機能、測定上の注意事項などを理解できているか、作成資料、発表内容、質疑応答内容で評価する。
2	【B-2】各種流体計測法を資料としてまとめることができる共に、その内容について発表・説明・質疑応答できる。		作成資料、プレゼンテーションの資料、内容、質疑応答により評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、プレゼンテーション40%、作成資料40%、質疑応答20%として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	特に指定しない		
参考書	「実用流量測定」：松山裕(省エネルギーセンター)		
関連科目	M4DC, M5DC「流体工学」, M5DC「流体力学」		
履修上の注意事項	上記関連科目のほかに、計測上使用される電気・電子回路などの電気的なことも理解していることが望ましい。		

